

S3カルチ総合取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

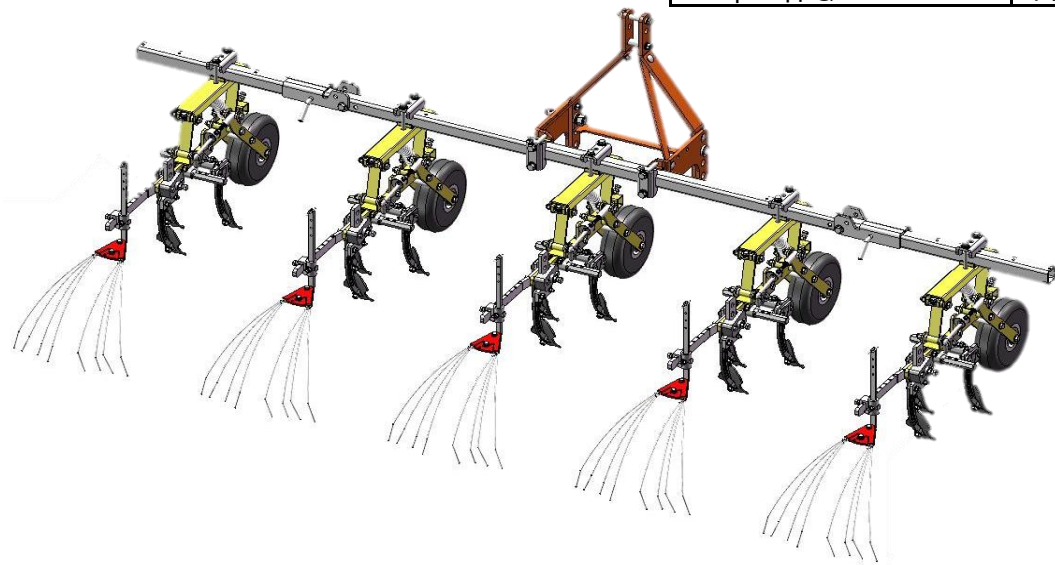
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

お読みになった後も必ずわかるところに保管し、いつでも読めるようにして下さい。



説明書QRコードとなっています。ゆくゆくはペーパーレス化を目指していますので、ご協力よろしくおねがいします。

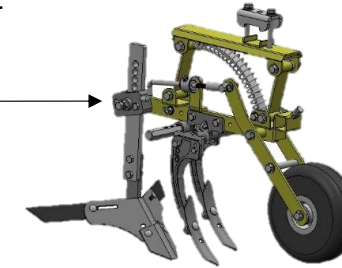
目次	
必ず読む	
はじめに	P. 2
安全に作業するために	P. 3
トラクタへの装着方法	P. 4
使用方法	
調整箇所	P. 5
オプションの紹介	
ウルトラQ	P. 8
碎土輪	P. 11
碎土クラッシャー	P. 12
もぐらディスク	P. 13
草カッターW	P. 14
半バイドG	P. 15



取付位置

カルチ本体のイチョウ刃を外しその部分に半バイドGを差し込み使います。

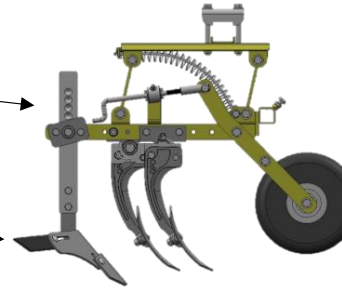
この部分に装着



半バイドGの調整方法

①土を動かしたい量によりバイドステーで深さを調整して下さい。

②土を寄せたい幅によりゴムベラ部分を調整して下さい。



注意事項

深く刺さるように調整すると、土を抱き込みすぎ作物に土を寄せ過ぎる場合があるので、気を付けて使用して下さい。

部品交換のタイミングは、バイド機先端部がすり減ったり、土を寄せる部分のゴムベラがすり減り無くなる事があります。使用前には必ず確認して使用して下さい。

注意事項・商品発送についてのお願い

弊社製品には、条間が必要な製品もありますので、必ず播種(移植)の条間寸法をお知らせ下さい。商品の発送は、すべて北海道からの出荷となります。出荷製品の多くは、分解してダンボール梱包となります。ダンボール梱包製品に関しては、佐川急便・日本郵便にて発送を行います。同一製品であっても、佐川急便・日本郵便の両方で送る場合もありますので、その場合は、1~2日程度の到着誤差が生じますので、あらかじめご了承下さい。パレット梱包製品に関しては、その都度、運送会社に依頼しますので、製品到着までは2~3週間程度かかりますので、お早めにご依頼下さい。

あなたの「あったらいいな」を“カタチ”にします。



本 社 北海道足寄郡足寄町旭町5丁目71-1
TEL(0156)25-5806 FAX(0156)25-6121

はじめに

この取扱説明書は本製品の正しい取扱方法と、簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただき十分に理解され、お買い上げ製品が十分な性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をすすめるためにこの冊子をご活用下さい。
また、お読みになった後も必ずわかる所に保存し、いつでも読めるようにして下さい。
なお、性能向上等により使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

警告について

本書に記載した注意事項は、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守って下さい。

◆注意表示について

危険 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

警告 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

注意 注意事項を守らないと、ケガを負うおそれのあるものを示します。

使用目的



本製品は畑作物の中耕を目的とした製品となります。

使用目的以外の作業や改造は絶対にしないで下さい。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象にはなりませんのでご注意下さい。

公道走行について

本機を取り付けたままの公道走行は禁止です。

公道を走行する時は、トラクタ等から本機を外して走行して下さい。

安全に作業するために



◆機械を安全に使用するために、次の事項は必ず守って下さい。

事故防止のため、長袖長ズボンの作業着を着用し、保護帽、安全靴、手袋等の保護具を身につけて作業を行って下さい。

ネジ部は作業前、作業後には必ず点検し、ネジの締め付けなどの点検を行って下さい。

トラクタ等の着脱の際は、トラクタ等に記載されている説明書の注意事項を守って脱着作業を行って下さい。

点検・調整・整備・掃除・注油をする時は、トラクタ等に装着している場合、トラクタのエンジンを必ず止め、平坦な安全な場所で作業を行って下さい。

作業をする時は安全のため、周囲3～5mに人がいない事を確認のうえ作業を行って下さい。

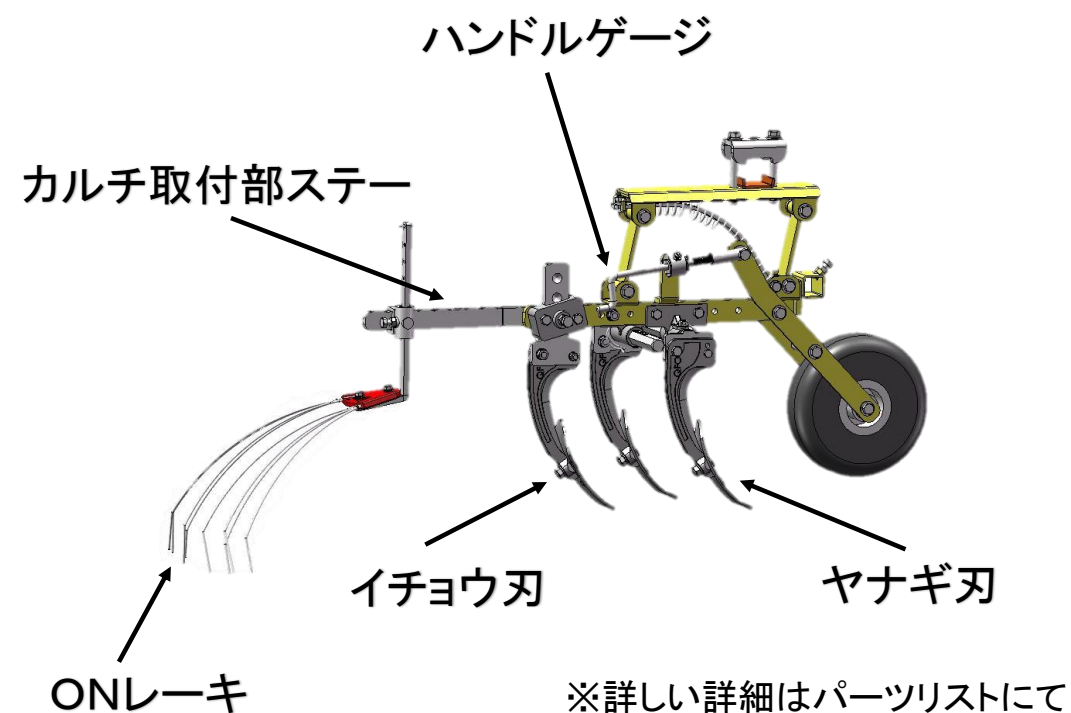
連続作業は、疲労のため事故の原因となります。1時間以上の連続作業は行わないで下さい。

部品は必ずメーカー指定の純正部品を使用して下さい。

この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象として作成しています。日本語が母国語でない方が本製品を使用する場合は、必ず日本語がわかる方が安全指導を行って下さい。

本書記載事項以外についても、安全には細心の注意をはらって下さい。

各部名称



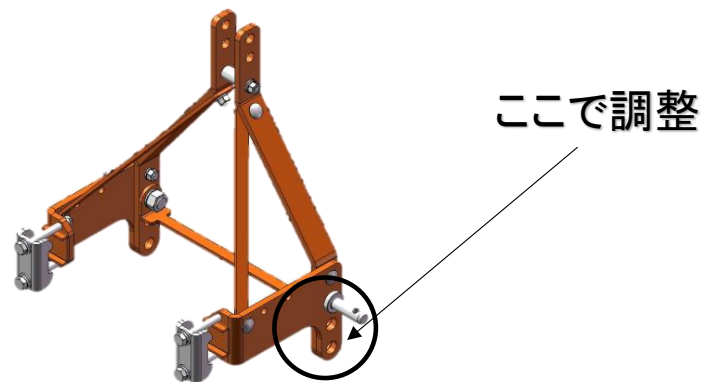
トラクタへの装着方法



取付の際は安全の為に保護具を装着の上、取付は必ず危険のない平坦な場所で作業して下さい。

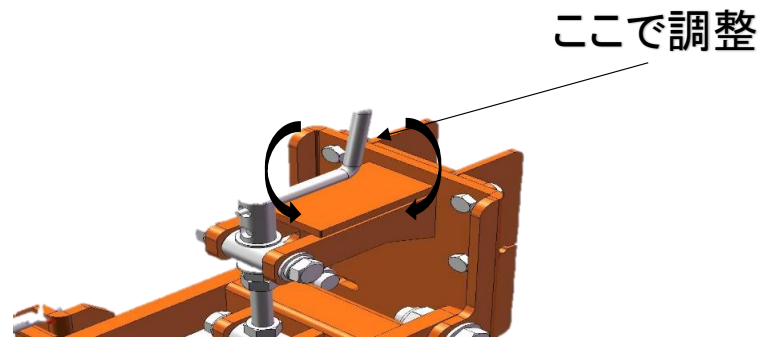
◆トラクタへの装着方法(本体部)

①3点ヒッチMのロアリンクピンにトラクタロアリンクを取付し、リンチピンで止めて下さい。
※3点ヒッチMのリンチピンの高さは、取付するトラクタの昇降限度に合わせて3段階設定ができます。トラクタによっては、油圧を降ろした時に下まで下がりきらない場合があります。(3点ヒッチMの場合に限る。)



②トップリンクを調整(3点ヒッチMに限る)
トップリンクの長さは、フレームが水平になるように長さを調整して下さい。

③その他角度調整出来るヒッチの場合
弊社の一部ヒッチは、トップリンク機能と同等の角度を調整出来るハンドルが装備されています。作業機がフレームに対して水平になるようにハンドルで調整して下さい。



※作業機がついたまま、油圧を上げた状態でハンドルを回すことは出来ません。地面に作業機が着いている状態でハンドルを回して下さい。

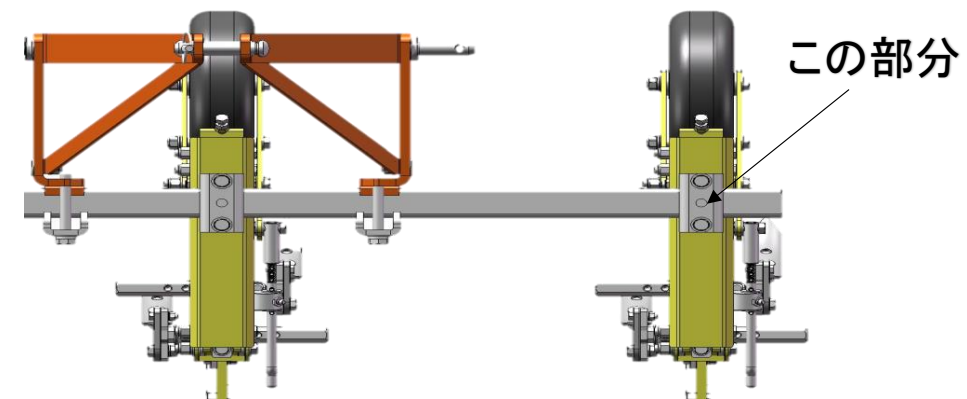
調整箇所

圃場、条件に合わせて調整箇所があります。

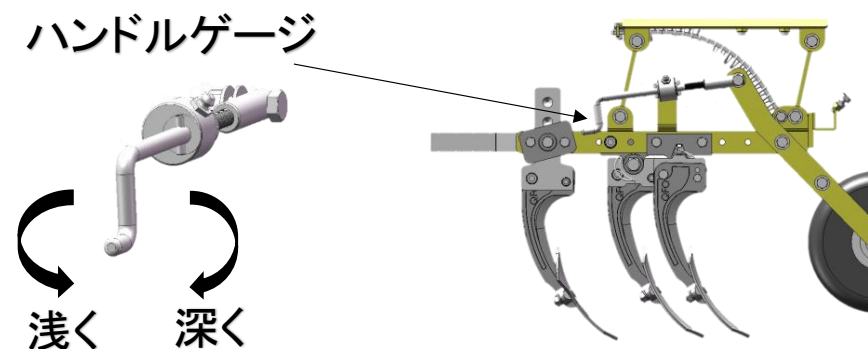
①フレームが水平になるように調整します。トラクタ(乗用形管理機等)側の油圧を降ろし2~3m前進する。そこでトップリンク又は調整ハンドルでフレームが水平になるように最終調整して下さい。



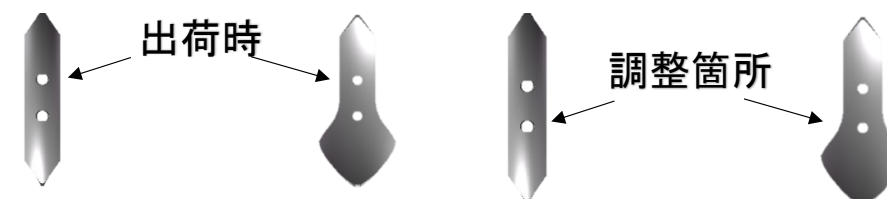
②カルチ幅の調整をします。作物の違いや圃場条件の違いで実際の条間と違う場合があります。その時はボルトを緩め実際の圃場の条間にカルチを調整して下さい。



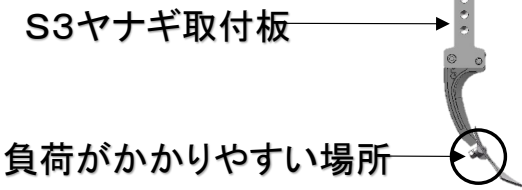
③ハンドルゲージで3本の爪の深さの調整をします。ハンドルゲージを左右に回すことでタイヤが上下し、爪の深さを調整することが可能です。爪の深さは5~8cm程度(ヤナギ刃を止めているネジ廻り)の深さで使用して下さい。



④ヤナギ刃・イチョウ刃共に穴が2つ開いています。基本的には出荷時のままお使い下さい。深く刺さり負荷がかかる場合や、土が動き過ぎると感じる時には穴位置を変えてお使い下さい。



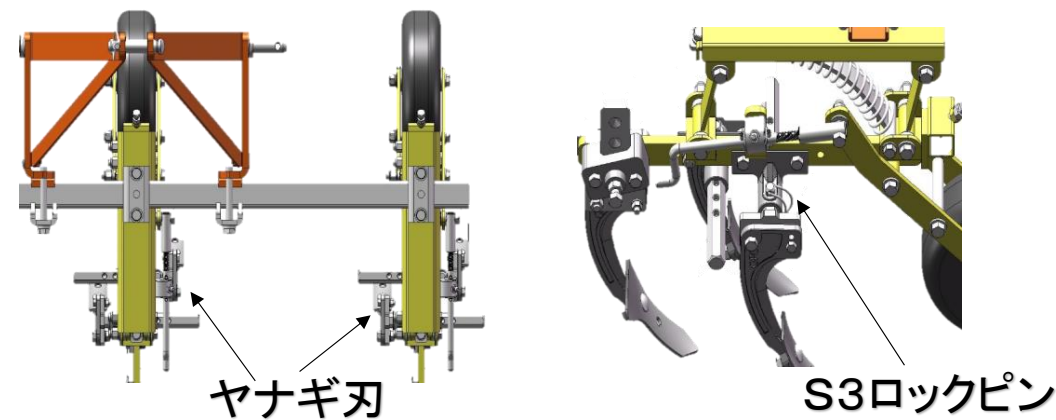
⑤イチョウ刃を取り付けているS3ヤナギ取付板で、高さの調整を出来るようになっています。基本的には出荷時のままお使い下さい。刺さり過ぎたり、土が動き過ぎると感じた時には、高さを調整してお使い下さい。深く刺すと、ボルトの付け根に負荷が掛かり折れる場合があるので、注意して使用して下さい。



爪はひっくり返して使うことができます。爪先が減ってきた時や、使用目的に合わせて組み替えて使用して下さい。

⑥条間(通路)の広さによってヤナギ刃の幅の調整をします。ヤナギ刃は、S3ロックピンを外し横バーをスライドさせ、S3ロックピンを戻すことで調整が出来ます。

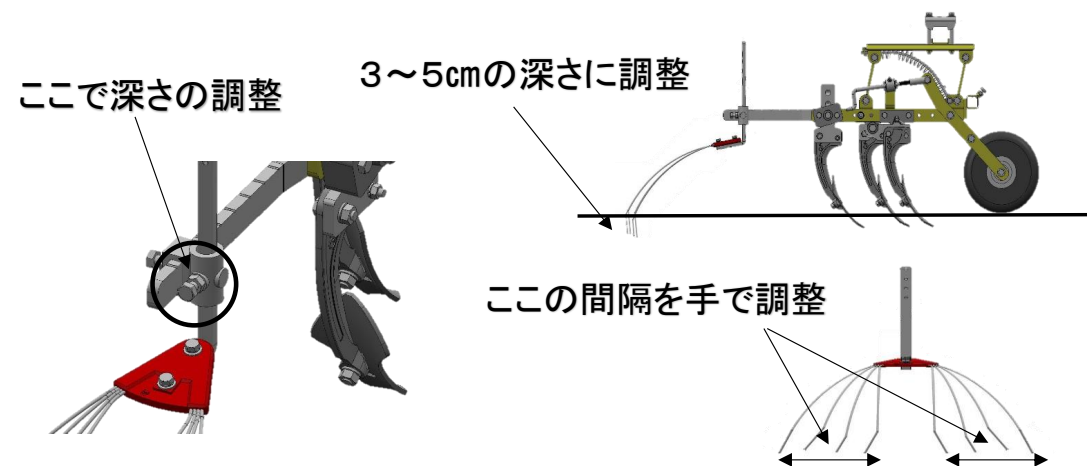
例として作物が小さいときは幅を広く、作物が大きくなってからは幅を狭く防除通路が狭い場合は幅を狭くする、広い場合は幅を広げるなどの変更して下さい。



⑦ONレーキの深さ調整をします。深く刺しすぎると土を抱き込み、うまく除草できなくなります。

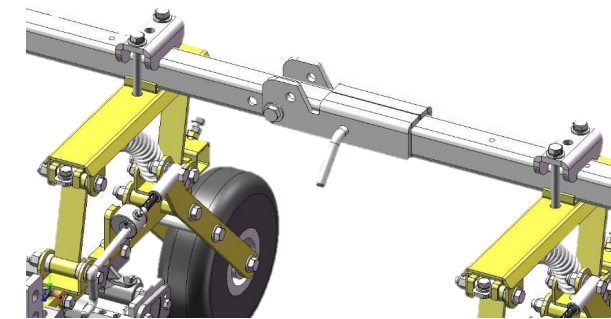
稲わらや稲株が多い圃場では、ONレーキの隙間に稲わらや稲株がつまり、土を抱き込んで作物を痛めたり、欠株の原因となります。その場合、手でレーキの感覚を広げるか、外して使用して下さい。

ONレーキの先端が3~5cm地面に刺さるように調整して下さい。(都府県仕様のみ)

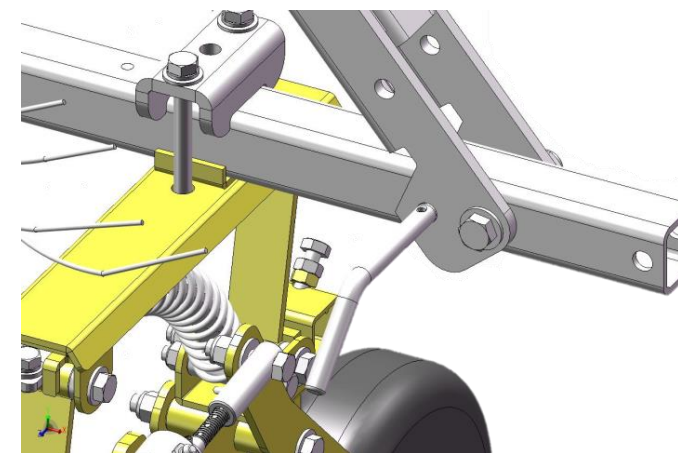


注意事項

フレームの折りたたみ機能がある場合は、状況に応じて使用して下さい。カルチは非常に重量があります。フレームを折りたたむ場合は、周りに十分に注意しながら、手やその他の身体に当たらないように十分に注意して下さい。



ピンを抜きカルチを上を持ち上げ
ピン穴をずらし固定する



本製品は非常に重量があるので、下に潜って作業をする場合には十分に注意して作業して下さい。

作業スピードは2~10kmの範囲で可能ですが、速度が早い場合ハンドルブレが生じやすくなります。その場合は2~4kmの範囲で作業して下さい。

スピードが遅い場合、土塊が多く残り除草効果が損なわれる場合があるので注意して下さい。

先端がとがっているため、調整や作業を行う場合は十分に気をつけて作業して下さい。

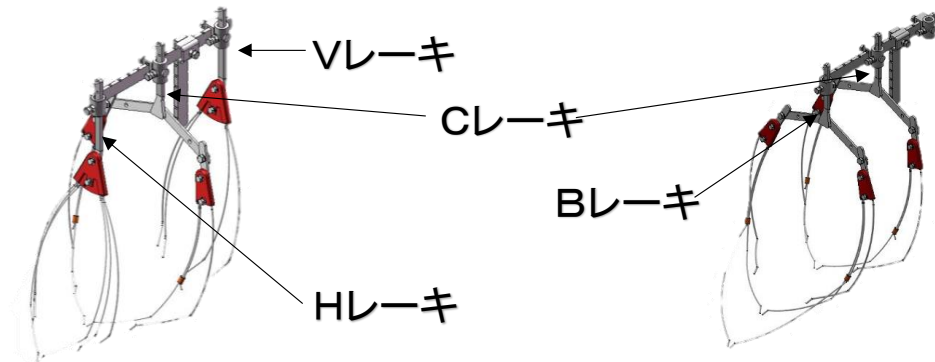
振動でボルトが緩みやすくなります。作業を行う前には、しっかりとボルトが固定されていることを確認して下さい。

舗装道路・コンクリート等の硬い所に作業機を降ろす場合は、ゆっくりと油圧を下げて下さい。特にオプションを付けている場合は、オプション品・ブラケット・ステー等が破損する恐れがあります。

北海道型式	都府県型式
H001-1DHA(1条)	P001-1CHN(1条)
H001-2DHA(2条)	P001-2CHN(2条)
H001-3DHA(3条)	P001-3CHN(3条)
H001-4DHA(4条)	P001-4CHN(4条)
H001-5DHA(5条)	P001-5CHN(5条)

オプションの紹介

【製品名】ウルトラQ



重量 1条6kg
対応条間 40~80cm

北海道型式	都府県型式
H024-1A(1条)	PO24-1A(1条)
H024-2A(2条)	PO24-2A(2条)
H024-3A(3条)	PO24-3A(3条)
H024-4A(4条)	PO24-4A(4条)

使用方法

本製品(ウルトラQ)は、作物の生育状況に応じてレーキの種類を変えながら、株間の除草を行います。ウルトラQは、土を動かすことにより草の除草、抑制を行います。よって初期除草(※1)使うものであり、草が大きくなった状態には対応していません。から粘土質には使用不可です。

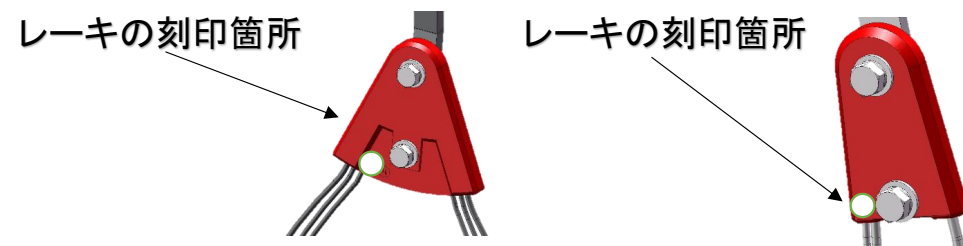
※1作物やその年の天候によっても異なりますが、移植の場合定植後約2週間前後
播種の場合播種後約1ヶ月~1ヶ月半

レーキの組合せ方法

レーキ名	V	H	C(CL)	B(BL)
作用	表層を割る		雑草を引き抜く	
対応ステージ				
生育初期	○	○	○	
中期			○	○
後期			○	○

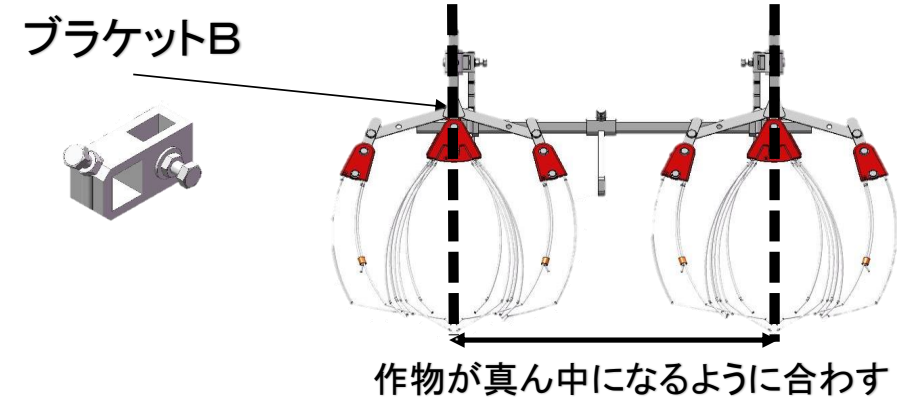
レーキの組合せ順としてはトラクタ側から順に
生育初期 : V+C+H の順番
生育中期以降 : C+B の順番

これらの組合せは、圃場条件によっては変わることがあります。
レーキの種類は赤いプラスチック部の右下の辺りに表記しています。



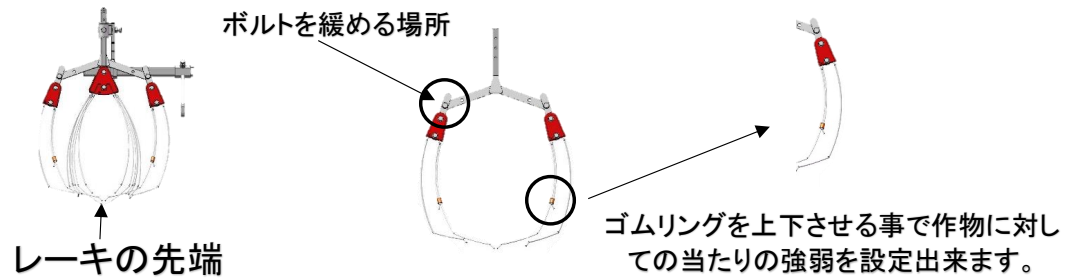
レーキの調整方法

①レーキの真ん中に作物が来るように、ブラケットBをスライドさせ位置を合わせます。作物が真ん中にならない場合、レーキで作物を引き抜きやすくなり、欠株の原因となります。

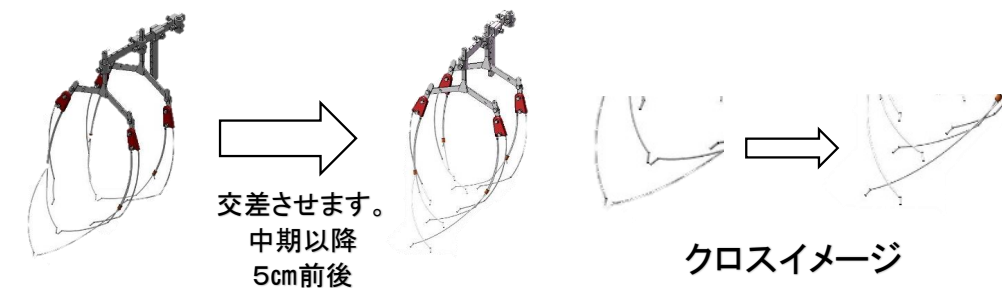


②作物の生育状況と雑草の大きさを参考に、レーキの先端の調整を行います。

生育初期 : 根は活着し始めていますが、すぐ抜けやすく欠株防止の為、レーキの先端の交差幅を少なめに調整します。その際の調整方法は手で力を加えクロスさせるか、ボルトを緩めて調整するかになります。



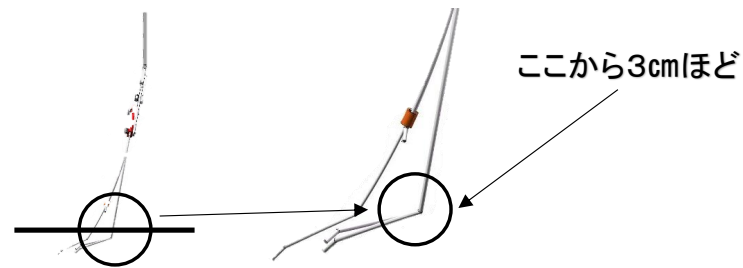
生育中期以降 : 根は完全に活着していますので、レーキの先端の交差幅を5cm前後にクロスさせてください。そうすることにより、除草効果が上がり株間・条間の除草が有効になります。



③レーキの深さの調整を行います。立ビームの部分で全体調整を行うか、ブラケットAでレーキ各種の深さの調整を行います。

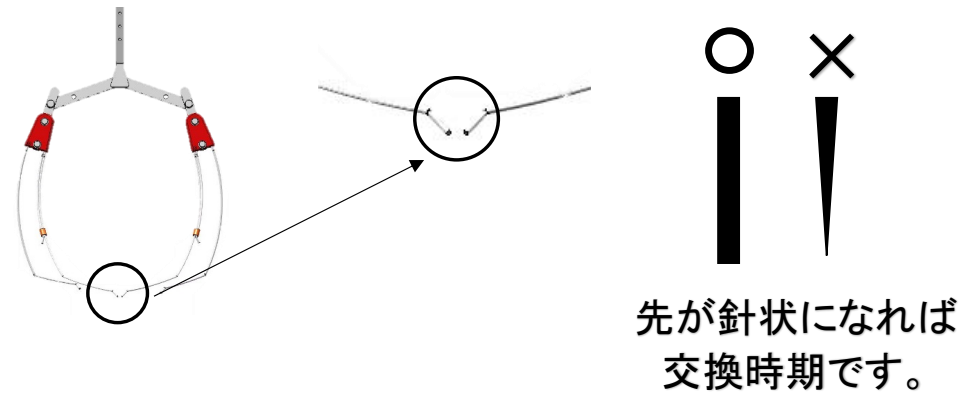


その時深さの目安として、レーキ先端側の曲がり部分が地面に3cmほど刺さるように押し込みます。この刺さりがないと、除草作業を行った時にレーキが表面に浮き上がり、地面のうえを這うような形になります。そのような状態になると除草作業は行われず、作物の葉や茎を痛め、欠株や生育不良の原因となりますので注意して下さい。



④部品交換のタイミング

レーキの先端部分が減ると除草効果が低下します。土質により消耗頻度が異なりますので、使用のタイミングの前に確認して下さい。



注意事項

前提として畝立て・植え付けが真っ直ぐであることを想定しています。真っ直ぐで無ければ無いほど、トラクタ(乗用管理機等)で作業した時にハンドルを切る機会が増え、作物に負担がかかり、欠株や作物の損傷に繋がります。その際、作物に関する保証やクレームは一切受け付けませんのでご了承下さい。

使用回数・頻度としては、1回目の除草作業から約1週間間隔で、更に2回程作業することをおすすめします。

除草をする日は、土が乾いて天気の良い朝からの作業をおすすめします。除草機により引き抜いた雑草を乾燥させ退治することが出来ます。

レーキは前進方向に力が逃げるように設計されているため、油圧を降ろした状態(レーキが地面に刺さった状態)でバックすると、折れやすくなっていますのでお気をつけ下さい。

先端がとがっているため、調整や除草作業をする際は十分に気をつけて作業を行って下さい。

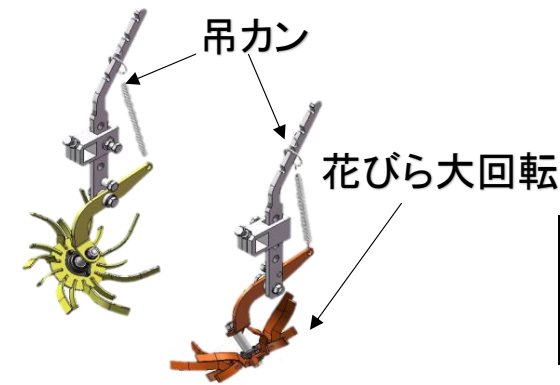
振動でボルトが緩みやすくなります。作業を行う前にはしっかりとボルトが固定されていることを確認し、付属のRピンで落下防止をするなどの対策をして下さい。

稲わらまたは雑草が多い圃場では、レーキ部分に稲わらや雑草が引っかかり、作物と一緒に引っ張ってしまう恐れがあります。その時はレーキを広げたり、レーキの種類を変える。またはウルトラQを外して使うなどして下さい。

稲わらや稲株が多い圃場では、天地返しなどの作業をすることをおすすめします。

雑草が多い場合は、そうなる前に早めの除草を心がけましょう。

【製品名】碎土輪



重量 1条4kg
対応条間 60~80cm

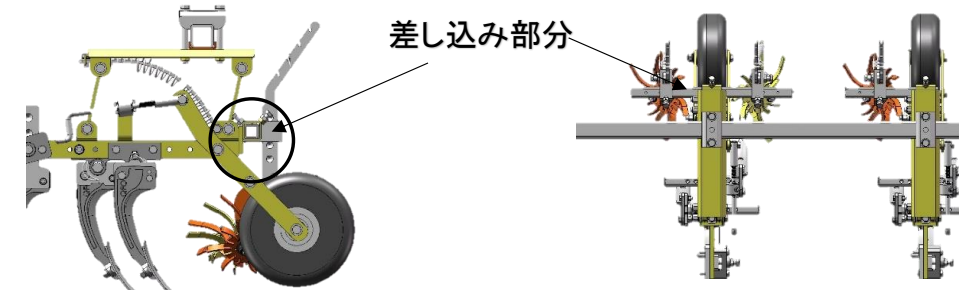
北海道型式	都府県型式
H029-1A(1条)	P029-1A(1条)
H029-2A(2条)	P029-2A(2条)
H029-3A(3条)	P029-3A(3条)
H029-4A(4条)	P029-4A(4条)

使用方法

粘土質や土が固くレーキ(ウルトラQ)が刺さりにくい圃場の時に使用します。

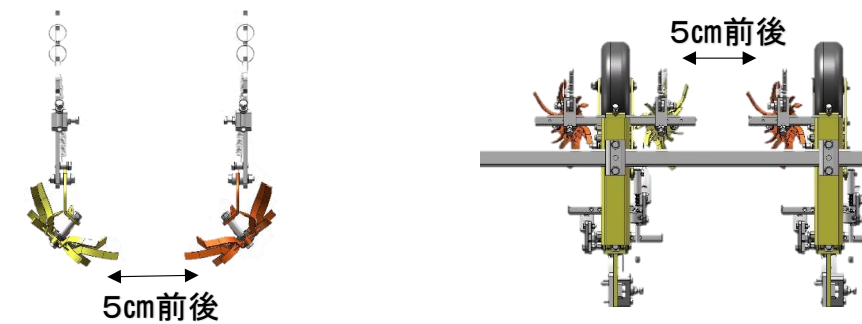
取付位置

カルチのタイヤの上部分に差し込む場所があるので、ツールバーを差し込みセットします。

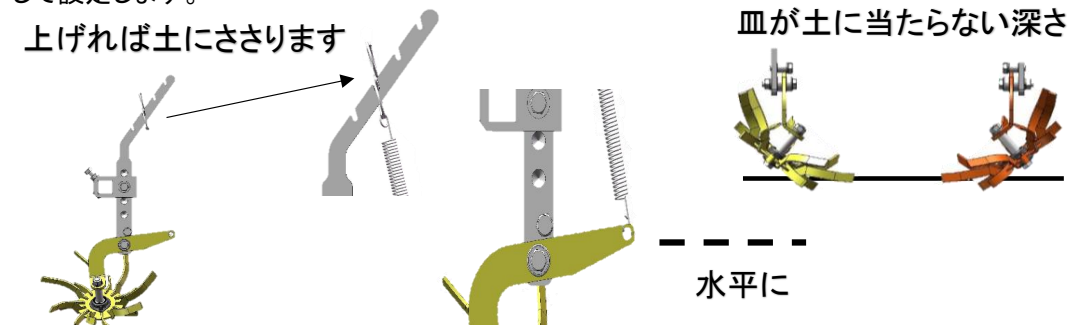


碎土輪の調整方法

①作物と花びらの間は5cm前後の部分にセットします。



②深さの調整は、作業中に花びらが隠れる程度(ベアリングが土に潜らない)に、作業時は花びらを固定しているL型の金具が地面と水平になるように、ゲージバーと吊りかんのバネの強弱を利用して設定します。



③作物の中期以降、葉が大きくなった時に碎土輪を使用すると、葉っぱを巻き込む場合があります。その時は碎土輪を作物から広げるか、使用を中止しカルチから取り外して下さい。

④部品交換のタイミング

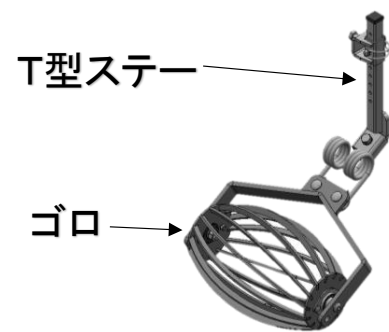
碎土輪の花びら部分には、ベアリングを使用しています。使用年数・頻度に関わらず、使用前には必ず、花びら部分を手で回して動きがスムーズか確認して下さい。回転が鈍い場合は、ベアリングの交換をおすすめします。

注意事項

石が多い圃場にはお気をつけください。花びら部分が曲がったりベアリング部分が損傷しやすくなるので、石が多い場合はこまめにチェックして下さい。

稲わら・稲株が多い圃場にはお気をつけください。稲わらが回転部に絡まり、花びら部分が止まる可能性があります。こまめに回転しているか確認して下さい。

【製品名】碎土クラッシャー



重量 1条8kg
対応条間 60～75cm

北海道型式	都府県型式
H028-1A(1条)	P028-1A(1条)
H028-2A(2条)	P028-2A(2条)
H028-3A(3条)	P028-3A(3条)
H028-4A(4条)	P028-4A(4条)
H028-5A(5条)	P028-5A(5条)

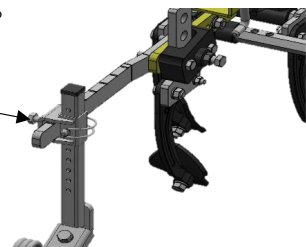
使用方法

カルチで中耕した際に出てきた土塊を砕くために使用します。

取付位置

カルチ後方のカルチ取付部ステーに取り付けします。

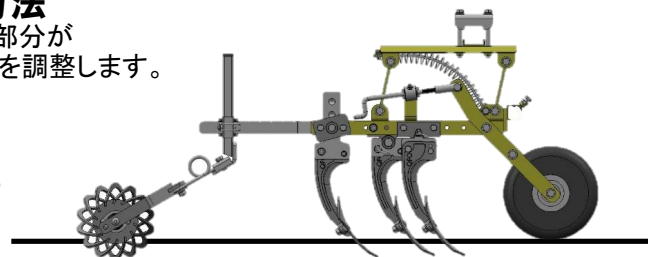
パイプロックピンを外すことで
高さの変更が出来ます



碎土クラッシャーの調整方法

カルチ爪の深さを設定し後にゴロ部分が土に1～3cm程度うまるように高さを調整します。

1～3cm程度埋まる位

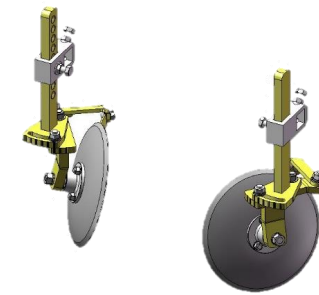


注意事項

碎土クラッシャーの取付位置を深く設定してしまうと、ゴロの中に土が溜まってしまいます。土が溜まるとゴロが回転しなくなり効果を発揮しなくなるので、注意しながら使用して下さい。

部品交換のタイミングは、ゴロを回す部分にベアリングを使用しているので、使用年数・頻度に関わらず、使用前には必ずゴロ部分を手で回して動きがスムーズか確認して下さい。回転が鈍い場合は、ベアリングの交換をおすすめします。

【製品名】もぐらディスク(S3カルチ用)



重量 1条10kg
対応条間 60～75cm

北海道型式	都府県型式
H032-1A(1条)	P032-1A(1条)
H032-2A(2条)	P032-2A(2条)
H032-3A(3条)	P032-3A(3条)
H032-4A(4条)	P032-4A(4条)
H032-5A(5条)	P032-5A(5条)

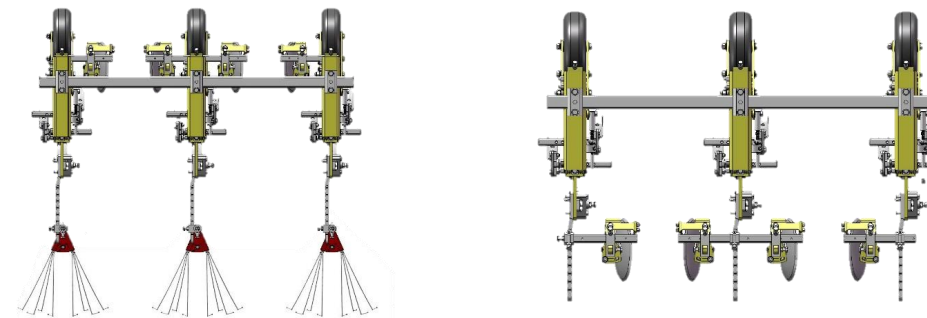
使用方法

平高畝や1うね1条の畝の肩削りに使用します。



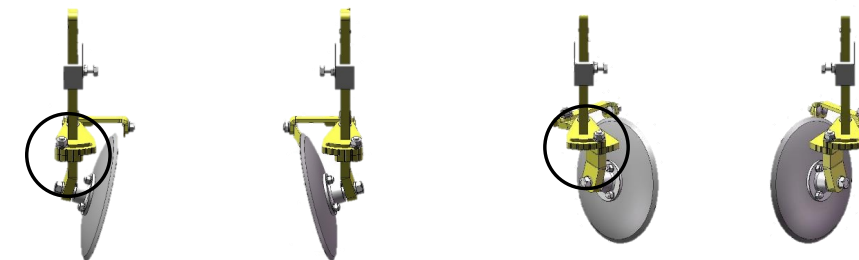
取付位置

カルチのタイヤの上部分に差し込む場所があるのでそちらにツールバーを差し込みセットします。またはカルチ後方のカルチ取付部ステーに取り付けします。もぐらディスクには左右があります。調整部分の長穴がある方が後ろになりますのでお気をつけ下さい。



もぐらディスク(S3カルチ用)の調整方法

畝肩にディスクが当たるように調整し、うねかたの角度に合わせて長穴の部分で調整して下さい。



注意事項

ベアリング部分に土がつまり回りづらくなる恐れがあります。こまめに確認し土を落として下さい。

部品交換のタイミングはディスクを回す部分にベアリングを使用しているので、使用年数・頻度に関わらず、使用前には必ず、ディスク部分を手で回して動きがスムーズか確認してください。回転が鈍い場合は、ベアリングの交換をおすすめします。

【製品名】草カッターW



重量 1条0.7kg
対応条間 60～75cm

北海道型式	都府県型式
H031-1C(1条)	P031-1C(1条)
H031-2C(2条)	P031-2C(2条)
H031-3C(3条)	P031-3C(3条)
H031-4C(4条)	P031-4C(4条)
H031-5C(5条)	P031-5C(5条)

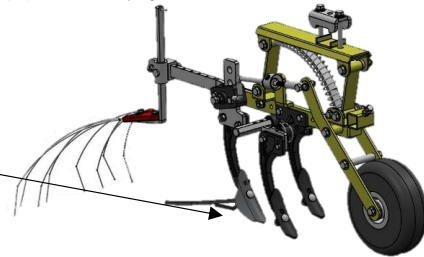
使用方法

イチョウ刃を草カッターWに変更して使用することで、大きな雑草の根を切断していきます。

取付位置

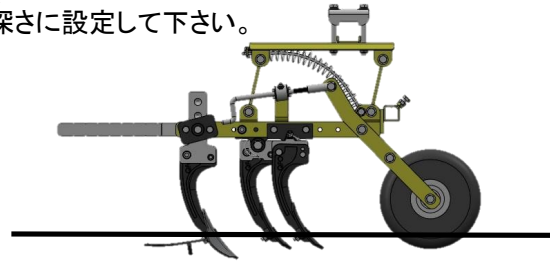
カルチ本体のイチョウ刃を外し草カッターWを取り付けします。穴位置は基本的には下の穴になりますが

先端の爪を付け替えます



草カッターWの調整方法

草カッターWの刃が土に隠れる深さに設定して下さい。

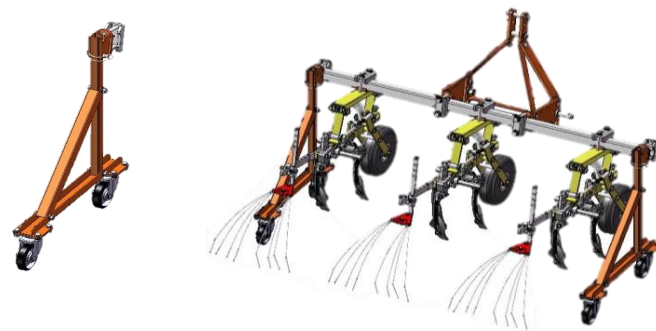


注意事項

草の根を切るといことは作物の根を切る恐れもあります。条間が狭い場合や、作物が大きくなってからのご使用はお控えください。

カッターの刃が丸みをおび、切れが悪くなった時に交換をおすすめします。

【製品名】S3カルチスタンド

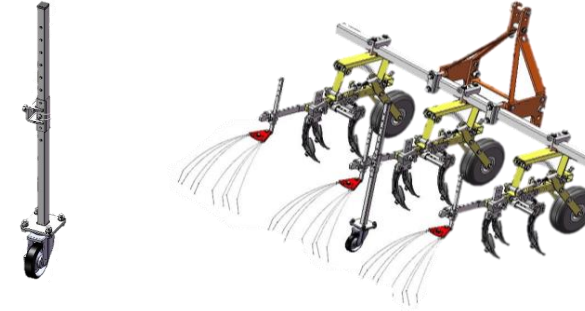


北海道型式	都府県型式
HS3-STAND-B	PS3-STAND-B

取付位置

取り付け位置を間違えると転倒するおそれがあるので必ず図のように取り付けして下さい。

【製品名】簡易スタンド

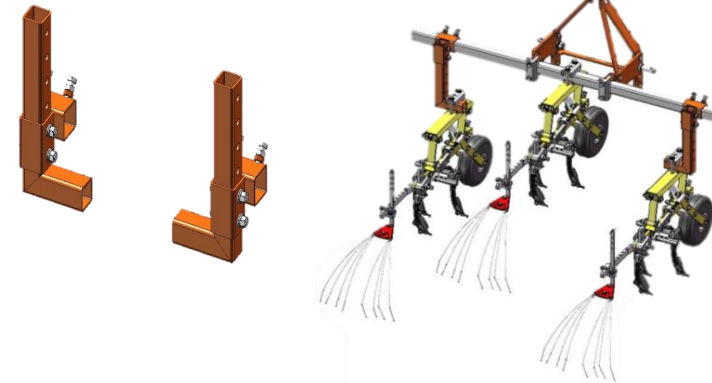


北海道型式
HKI-1
都府県型式
PKI-1

取付位置

カルチ取付部ステーに図のように取り付けします。重いので取り付けの際には注意して下さい。

【製品名】平高用金具



北海道型式
HHK-A
都府県型式
PHK-A

使用方法

図のよう取り付け、乗用形管理機で油圧が下がりがきらない場合や、平高畝の中耕除草をする時に使用します。

注意事項

基本的には2個使用します。場合によってはカルチの条数分必要な時があります。

載せている型式は1個の型式となります。注文の際は必要な個数お頼み下さい。

【製品名】半バイドG

バイドステー →

重量 1条3.5kg
対応条間 45～75cm

ゴムベラ・板バネ

バイド

先端刃

北海道型式	都府県型式
H030-1D(1条)	P030-1D(1条)
H030-2D(2条)	P030-2D(2条)
H030-3D(3条)	P030-3D(3条)
H030-4D(4条)	P030-4D(4条)
H030-5D(5条)	P030-5D(5条)

使用方法

鉄製のバイド機で土を寄せるために使用します。